



Professional Recovery User's Manual

復旧天使 Professional 基本ユーザーマニュアル

復旧天使 Professional Ver6



ご注意下さい

本ソフトウェアは自動データ分析、データ修正等の機能を備えており、使い方を誤るとデータが損傷する場合があります。

実際にデータ復旧作業を行う際は、本ソフトウェアの扱いに習熟した上で、データのバックアップを取る等の安全対策を講じてからご使用下さい。

1. 準備

復旧天使Professional に実装されている暗号化解除機能を使用することで、暗号化ボリュームを復号化して復旧作業を行うことができます。

暗号化ボリュームの復旧を行うためには、以下の条件が必要となります。

(1) 自動で仮想RAIDボリュームを作成できること

復旧天使を起動してもRAIDボリュームが表示されない場合、RAID構成の初期化やハードディスクの障害などが考えられます。

暗号化されたボリュームは仮想RAIDを構築しても「不明なパーティション」と表示されるため、自動での仮想RAID構築でなければ正しい構成で構築することは困難です。

(2) 暗号化を解除するための復号化キー

暗号化ボリューム作成時に復号化キーを作成して保存している場合は、保存したキーを用意して下さい。

復号化キーがない場合は、暗号化キー抽出サービス(IODATA/Buffalo製品)またはデータ復旧サービスをご利用下さい。

[暗号化の確認方法]

暗号化されているディスクには、暗号化の表示を確認できる場合があります。

復旧対象ディスクを16進数ビューアで開き、以下の様な表示が確認できる場合は暗号化されていると判断されます。

```
00 00 00 00 | .....
00 00 00 00 | .....
64 3A 37 33 | disk1...00:1d:73
61 72 72 61 | :ff:9e:c7...arra
64 00 00 00 | y1..encrypted...
00 00 00 00 | .....1.....
00 00 00 00 | .....
00 00 00 00 | .....
00 00 00 00 | .....
00 00 00 00 | .....
00 00 00 00 | .....
```

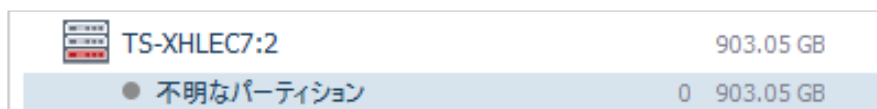
2. 復号化の手順

(1) LANDISK/TeraStationの場合

① 暗号化ボリュームを選択します。

復旧天使Professionalを起動すると、自動的にRAIDボリュームが構成されますが、ボリュームが暗号化されているため

「不明なパーティション」として表示され、この状態ではパーティションを開いて中を確認できません。



② ツールバーの「暗号化ストレージの復号化」をクリックします。



③ パラメータ設定を行い、暗号化キーを入力します。

「復号化パラメータの定義」画面が表示されたら「Slat」方式の項目を「Plain number、64bit」に設定します。

他の設定項目はデフォルト設定から変更しません。

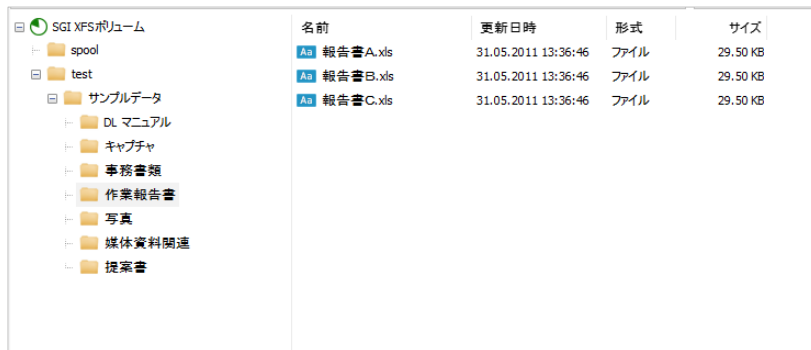
暗号化キーの項目に用意したキーを入力(コピーアンドペースト等)してOKをクリックします。



④ 復号化されたボリュームが表示されます。

ボリュームに損傷が無ければ、パーティションを開くと正常にディレクトリ構造を表示します。

消失したデータを復旧する場合は、そのままスキャンを行って下さい。



(2) NetGear ReadyNASの場合

① 暗号化ボリュームを選択します。

復旧天使Professionalを起動すると、自動的にRAIDボリュームが構成されますが、ボリュームが暗号化されているため「不明なパーティション」として表示され、この状態ではパーティションを開いて中を確認できません。

| | |
|---|----------------|
|  43f618c8:TEST-0 | 922.26 GB |
| ● 不明なパーティション | 4096 922.26 GB |

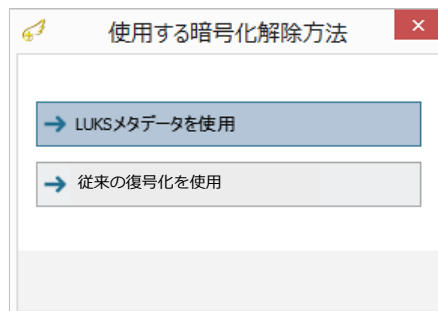
② ツールバーの「暗号化ストレージの復号化」をクリックします。



③ 使用する暗号化解除方法を選択する

接続したディスクの中からソフトウェアがLUKSの情報を検知した場合は、通常の復号化の方法に加えてLUKSに対応した復号化の選択画面が表示されます。

この表示が出た場合は「LUKSメタデータを使用」を選択します。



④ 暗号化キーを入力します。

「暗号化解除パスワードを指定」画面が表示されたら、用意したキーをコピーしてパスワードの入力欄に貼り付けます。

エンコードはデフォルト設定で構いません。

入力が完了したら、OKボタンをクリックします。



⑤ 復号化されたボリュームが表示されます。

ボリュームに損傷が無ければ、パーティションを開くと正常にディレクトリ構造を表示します。

消失したデータを復旧する場合は、そのままスキャンを行って下さい。

| | 名前 | 更新日時 | 形式 | サイズ |
|------------|--------------|------|---------|---------|
| 8trfsボリューム | \$ | | ファイル... | 0 bytes |
| | ._share | | ファイル... | 0 bytes |
| | .apps | | ファイル... | 0 bytes |
| | .purge | | ファイル... | 0 bytes |
| | .snapshots | | ファイル... | 0 bytes |
| | .timemachine | | ファイル... | 0 bytes |
| | .vault | | ファイル... | 0 bytes |
| | TEST | | ファイル... | 0 bytes |
| | admin | | ファイル... | 0 bytes |
| | home | | ファイル... | 0 bytes |

